



たかなし

校訓「尚志」「知新」

第42号 令和4年10月27日




「実りの秋」学習指導の充実を図って

19日は6年松組が今月27日に行われる「大曲仙北教育研究会外国語研究会への授業提示*コロナ禍のためビデオ撮影」、20日には2年松組が「指導主事計画訪問 生活科授業提示」と、参観授業を通して我々教員も研修を深めました。どちらの学級の授業も子どもたちと教員の頑張りが随所に見られ、素晴らしい授業内容でした。

6松：外国語「6松サファリパークの地図を作ろう」



「指導主事と外国語研究会員の感想」

- ◇指導案に目を通した時から素晴らしい授業になると感じていたが、その通りだった。
- ◇授業のゴールが明確で分かりやすい。 
- ◇子どもに考えてしゃべらせる計画と場面設定が素晴らしい。
- ◇間違いを指摘し合う学び合い、自己開示した学び合い等々の高いレベルでの学び合いが見られた。
- ◇子どもたちの元気さと朗らかさ、いいなあ！

2松：生活科「うごく うごく わたしの おもちゃ」



「指導主事の方の講評」

- ◇(相手の立場を考慮して) 話せる、書くことのできる2年生で驚いた。
- ◇書く、聞く、話すなどの学習規律が身に付いている。
- ◇人間関係(学級の雰囲気)のよさが学び合い活動の基盤となっている。
- ◆「児童の気づきの高め方」「ICT活用」について、ご助言を頂戴しました。